

令和 2 年 7 月 1 日

各 位

公益財団法人東京都軟式野球連盟

少年(中学生)大会の投球制限について (重要)

拝啓 盛夏の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は当連盟の運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「公益財団法人全日本軟式野球連盟」では、少年(中学生)野球に関する投球数制限のガイドラインの制定の審議がおこなわれ、本年度より少年部全国大会における投手の投球制限を設ける事が決定されました。

つきましては、当連盟でも東京都大会に於いて下記のとおり投手の投球制限を導入いたします。

子供たちの肘、肩の障害予防として、また、生涯スポーツとして軟式野球をより安全に長く続けていただきたく、各支部、チームの皆様の多大なるご理解、ご協力を賜りたく存じます。

また、下記投球制限規則につきましては、「東京都軟式野球連盟 特別規則」であり、関東、全国大会ではまた別途の規則があることを申し添えます。

敬具

記

- [1] 1日100球以内とする。
- [2] 1日でダブルヘッターの場合も、1投手1日100球以内とする。
- [3] 試合中の投手は、他の守備に付いたら再び投手に戻れない。
- [4] ボークにもかかわらず投球したものは、投球数とする。
- [5] 7回終了して同点でタイブレークとなった場合。
「7回終了後の投手」が1日100球以内であれば引き続き投球することができる。すなわち、通算で100球以内とする。
- [6] 球数の表示係についてはチーム関係者の方をお願いする。
(対戦相手チームの投球数を表示して行く。)
- [7] 取扱い開始時期については、2020年度(令和2年度)大会より実施する。
- [8] 女子中学生の部も同様とする。

以上